

令和元年 9月 2日

智頭町議会議長 大河原 昭洋 様

智頭町議会議員 安道 泰治  
國本 誠一  
河村 仁志  
高橋 達也  
大藤 克紀  
岩本富美男  
谷口 雅人  
岸本眞一郎  
酒本 敏興  
中野ゆかり  
大河原昭洋

### 議 員 派 遣 結 果 報 告 書

令和元年8月8日に決定された議員派遣について、下記のとおり報告します。

#### 記

1. 期 日

令和元年8月23日

2. 派遣場所

岡山県勝田郡奈義町豊沢306-1「奈義町役場」

3. 内 容

智頭町・奈義町議会議員交流会

4. 目 的

智頭町、奈義町の両町が抱える諸問題についての情報交換並びに意見交換を行い、今後の議会活動及び議員活動に資する。

## 5. 概要等

- (1) 開 会 午後3時30分
- (2) 挨拶 奈義町長 奥 正親 氏  
奈義町議会議長 岡 親佐 氏  
智頭町議会議長 大河原 昭洋
- (3) 取組報告 奈義町の畜産業の取り組みについて  
勝英農業協同組合 奈義支店長 定森 久芳 氏
- (4) 意見交換 奈義町高齢者生活応援事業、さと丸乗り合い交通の運行、  
政務調査費の交付、等
- (5) 閉 会 午後5時00分

## 6. 所感等

### ○奈義町の畜産業の取り組みについて

奈義町では、産地間競争における差別化に向け、肉用牛に「なぎビーフ」と銘打ち、生産から消費に至る関係者及び関係団体を構成員とする推進協議会を設立し、生産から経営の安定、販売普及、ブランド価値の向上等、様々な取り組みを進めている。

なぎビーフは、①清らかな天然水と健康的な飼料で育てる、②ストレスを与えず健康的に育てる、③岡山和牛の血統を守り続ける、という3つのこだわりを持って生産されている。また、飼料に県特産品である黒豆「作州黒」を使用することを条件にするなど、特産品を活用した付加価値づくりも行っている。

ブランド化を進めるためには、都市圏でのPR・販売だけでなく、まずは地元での消費を伸ばしていくべきとの考えで、推進協議会への地元飲食店、販売店舗の加入促進や、町主催イベントの開催、地元新聞への特大広告の掲載など、様々な活動を展開している。

奈義町の畜産農家は5戸と智頭町より少ないが、農畜産物販売高に占める畜産の割合は高く、各農家では3代目となる後継者が経営の主体になっていることから、本町において、後継者が育つような経営規模をどのようにして構築していくかという課題も見えた。

また、説明者の定森支店長の熱心な姿勢から、なぎビーフへの積極的な取り組みのけん引役になっていることが推し量られた。本町においても、全国和牛共進会でグランプリとなる肉用牛が生産されたり、若い世代の後継者が増えたりしている中、今後の畜産振興のため、環境整備も含め、業界と行政とのさらなる連携が不可欠であるということを感じた。

### ○その他、意見交換等について

- ・議会改革の一環として、奈義町を含めた岡山県内町村議会の政務調査費の交付状況について質問し、12町村議会中4議会で交付されているとの説明を受けた。鳥取県内町村議会ではすべて未交付のため、今後の参考としたい。

- ・ 奈義町議会の本議会における傍聴者数は少ないが、防災無線により自宅で一般質問を聞くことができるとのこと。この点について、今後情報収集を進めたい。
- ・ 智頭町議会の議会報告会は、議員が6地区に出向いて開催しているが、奈義町議会ではテーマと対象者を絞り、1ヶ所で開催されていた。参考として、今後のあり方を検討していきたい。
- ・ 両町の議会相互訪問、意見交換は、回を増すごとに内容も深まり、議員間の信頼関係も増し、とてもいい取り組みだと思う。
- ・ 高齢者生活応援事業による生活応援券の配付は、介護保険料の急激な引き上げの緩和措置であるとのこと、町の事情と対応は多様であると感じた。
- ・ さと丸乗り合い交通は、町が事業主となって有償で取り組んでいる運送事業であり、注目すべき交通体系であると思うので、今後も注視していきたい。